

第7回 高麗郡公開歴史講演会

『日本書紀』編纂1300年

帰化と渡来をめぐって

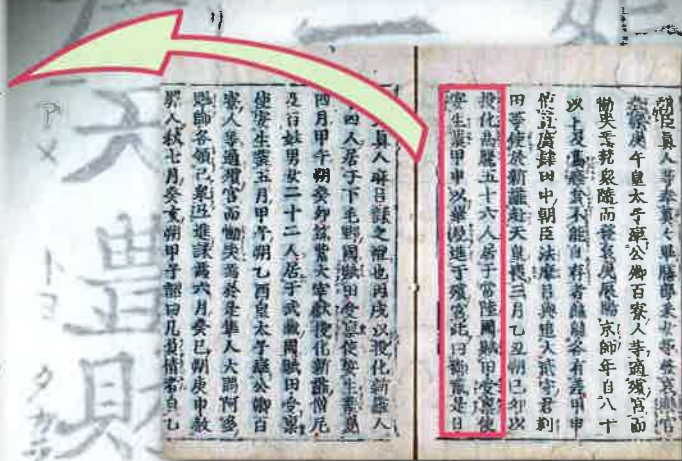
講師 **田中史生**

早稲田大学文学学術院教授・博士(歴史学)

投化鳥麗五十六人居于常陸國賦田受粟使
安生葉甲申以華漫進于殯宮此曰御蔭是日

投下せる高麗五十六人を(以ちて)、常陸國に居らしめ、賦田ひ受粟ひ、生業に安からしめたまふ。

来朝した高麗人五十六人を常陸國に住ませ、田を賦与し穀物を給付して生業を安泰ならしめた。



『日本書紀』卷30 持統元年三月己卯条

「渡来人」と「帰化人」は 何が違うのか？

『日本書紀』のさまざまな 「帰化」の記事から、古代 の日本が見えてくる……

2021年 7月 11日 日

13:30 ~ 16:30

会場 **日高市総合福祉センター「高麗の郷」1F研修室**

感染予防にご理解ご協力を

- ・当日ご体調のすぐれない方はご参加になれません。
- ・マスク着用でご越しください。検温、手指消毒等にご協力ください。
- ・会場では換気、対人距離などを保つよう実施いたします。
- ・新型コロナウイルスの関係で、内容等が急遽変更または中止になる場合もございます。

Program

- 13:00 受付
- 13:30 開会 主催者あいさつ
- 13:45 講演 『日本書紀』と「帰化」～「帰化」の成立と東国～
講師 田中史生 (早稲田大学文学学術院教授)
- 15:15 休憩
- 15:30 トークセッション
渡来文化と『日本書紀』の成立を探る！
講師 田中史生
コーディネーター 荒井秀規 (日本高麗浪漫学会副会長)
コメンテーター 赤木隆幸 (日本高麗浪漫学会研究員)
- 16:30 まとめ・閉会

- 定員 70名(申し込み先着順)
- 参加費 (資料代等)
高麗1300会員 500円 一般(会員外) 1,000円
- 申込み 6月8日(火)より高麗1300へ次の①～④のいずれかで。先着順に受け付けます(お名前・連絡先・住所等)。
- ①ホームページ <http://komagun.jp> トピックス記事「申込みフォーム」から
- ②E-mail info@komagun.jp
- ③電話 042-978-7432 (不在の場合あり)
- ④FAX 042-978-7452



講師：田中 史生 (たなか ふみお)

早稲田大学文学学術院教授 博士(歴史学)

2016年 第4回古代歴史文化賞大賞を受賞

専門分野：日本古代史、国際交流史

1967年 福岡県生まれ
1991年 早稲田大学第一文学部(日本史学専修)卒業
1996年 國學院大学大学院文学研究科博士課程後期修了
島根県埋蔵文化財調査センター主事、関東学院大学教授を経て、2018年4月より早稲田大学文学学術院教授。

主な著書

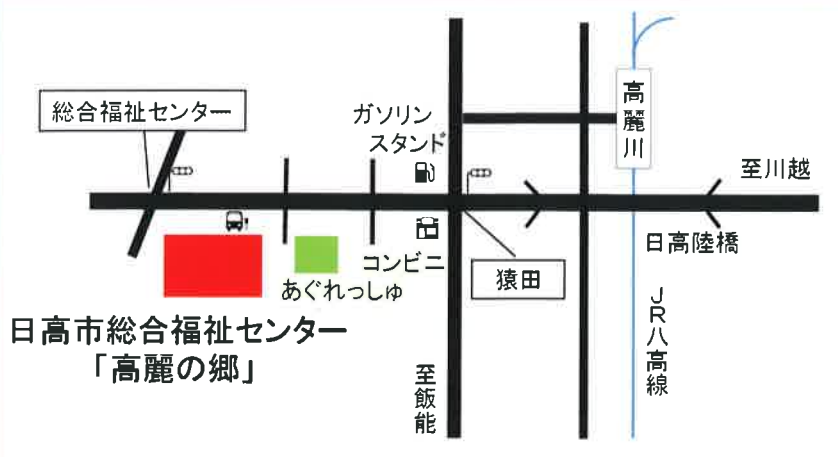
『日本古代国家の民族支配と渡来人』(校倉書房)
『倭国と渡来人』(吉川弘文館)
『越境の古代史』(ちくま新書)
『国際交易の古代列島』(角川選書)
『渡来人と帰化人』(角川選書) ほか

講師からのメッセージ

講演テーマ：『日本書紀』と「帰化」～「帰化」の成立と東国～

「帰化」をやめて「渡来人」を用いるべきとの見解が提起されて半世紀。現在では教科書の大半が「渡来人」の語を採用しています。しかし、日本古代研究において、この論争は今も続く難しい問題です。

その主要な論点のひとつに、『日本書紀』の「帰化」を編者の潤色とみるか否かという問題があります。本講演では、『日本書紀』の「帰化」記事を中心に、古代日本において「帰化」がいつどのように成立したかについて考えます。あわせて天智紀以降の六国史にみられる「帰化人」の東国移配についても、その背景について考えたいと思います。



【会場】

日高市総合福祉センター「高麗の郷」

埼玉県日高市榎木(にれぎ) 201

☎042-985-9988

- ・JR八高線 川越線 高麗川駅より徒歩約15分
- ・高麗川駅から国際興業バス「飯能駅行」に乗車、「総合福祉センター前」下車
- ・お車の場合、無料駐車場あり
※臨時駐車場をご利用いただく場合があります

【お問い合わせ】 高麗1300 (日本高麗浪漫学会) 事務局

☎042-978-7432 〒350-1243 埼玉県日高市新堀 855-3

E-mail info@komagun.jp ホームページ http://komagun.jp